

大屋式

坪刈試験用脱芒脱穀機取り扱い説明書 (OMM型)



合名会社

大屋丹藏製作所

事務所 : 〒452 - 0055 愛知県清須市西枇杷島町北二ツ杵74番地

T E L (052) 501-1867 F A X (052) 501-1877

工場 : 〒452 - 0064 愛知県清須市西枇杷島町旭2丁目73番地

T E L (052) 501-2821

URL : <http://www.ohyatanzo.com>

e-mail ohya@drive.ocn.jp

本機の特長

唐箕付きの為、共雑物と朶が分かれて出てきます。

作業は1人でも容易にできます。

扱き口の操作、排塵板の操作、脱穀板、脱芒板の差し替えが容易にできます。

唐箕の起風胴内は開閉板を開き簡単に掃除ができます。

無段変速装置付きの為、唐箕風力を微調整できます。

安全上のご注意

火災、怪我などの事故を未然に防ぐ為、ご使用前に必ずこの取り扱い説明書を全て熟読し、本機の知識、安全の情報等を習熟してから、本書に従って正しく使用して下さい。



危険

取り扱いを誤った場合に、危険な状況がおりえて、死亡又は重症を受ける可能性が想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、危険な状況がおりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び部的損傷だけの発生が想定される場合。

危険

本機への注油、点検、補修作業等をされる時は、必ずメインスイッチをOFFにして電源コードを抜いてから行って下さい。

本機へ資料を投入する際は手を巻き込まれない様、十分注意して作業して下さい。

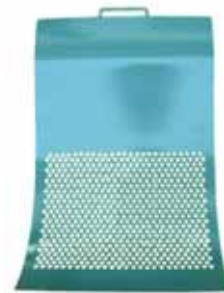
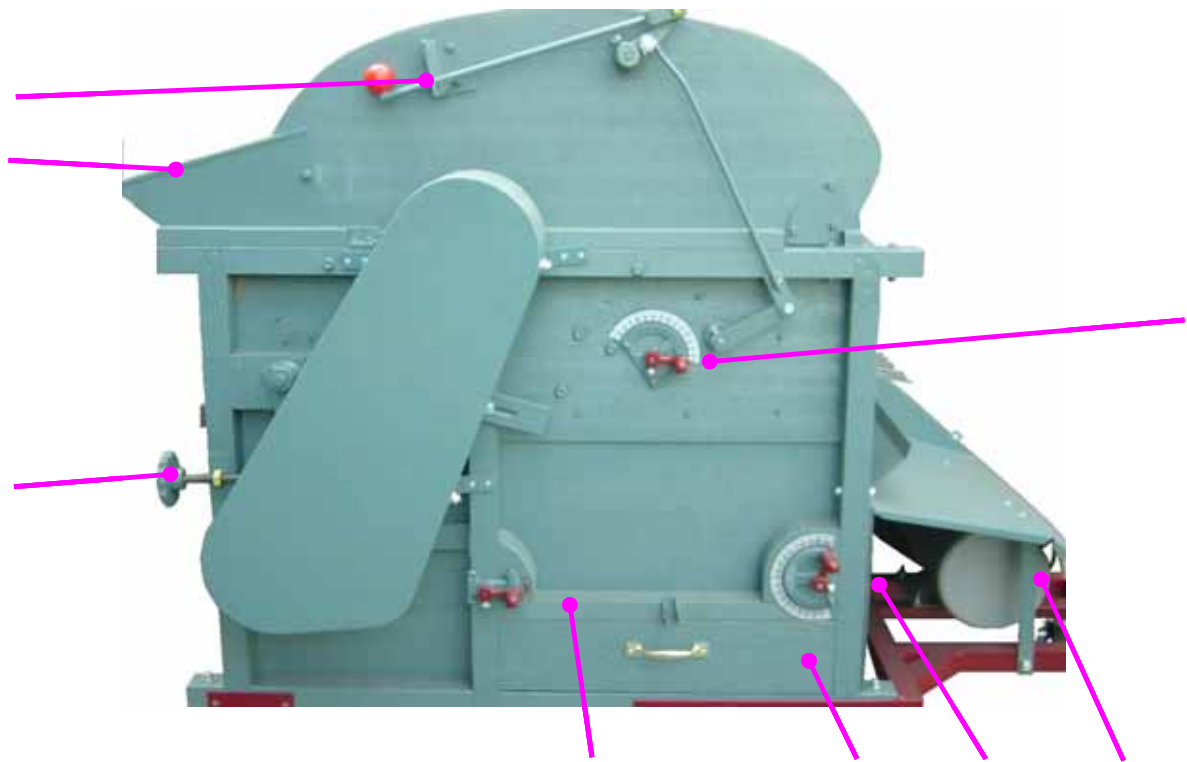
ベルトカバー等は必ず装着した状態で作業して下さい。

注意

お客様による本機の改造は、当社の保証範囲外ですので、責任は負いません。


本機は突起した部分がある為、十分に注意して下さい。

各部名称



仕様書	
形式	OMM型 (OMMC)
全長×全幅×全高	1.240×640×810 (1.240×640×945)
扱胴幅	300mm
回転数(r.p.m)	主 軸 約640回転
	唐箕軸 約640回転
重量	75kg (90Kg)
Vベルト	50Hz A-75×2本(モーター) / A-41×1本(唐箕)
	60Hz A-80×2本(モーター) / A-41×1本(唐箕)

各部名称

名称	説明
排塵レバー	脱穀攪拌中、及び脱穀内部に資料が残留している時は、絶対にレバー操作はしないで下さい。 尚、レバーを強く押したり引いたりされると故障の原因になりますので注意して下さい。
唐箕風力調節ハンドル	 このハンドルは、左(反時計回り)に回すと唐箕風力が上がります。 注意事項 ベルトカバーを外すと、中に唐箕変速プーリーがありますので、その部分(パネ部分)には週一度の注油をお勧めします。尚、この部分が錆付いたり変形すると唐箕変速装置としての能力は失われますので注意して下さい。
唐箕風向板レバー	触らないようにして下さい。万一、触ってしまったたりズレた時は、メモリの赤い線に合わせて下さい。
資料受箱	この箱は、しっかりロックして下さい。
排出口シャッター	藁屑等の有無、及び多少に関係します。基本はメモリの10位に合わせて下さい。
籾落とし口開閉レバー	このレバーは籾の流量調整等にも関係しますが基本的に全開でも構いません。
メインスイッチ	本機メインスイッチです。
脱穀板(8.5mm) 脱芒板(3.2mm)	籾の脱穀の場合は、脱穀板を差込んで下さい。麦の場合は、脱芒板を使用して下さい。一点の資料が終了しましたら脱穀板及び脱芒板を半分ほど手前に引き出すと扱胴内の残留資料が落下します。
モーター	本体が運送会社にて発送された物についてはモーター類は取り付いていませんので、お客様によって組み立てて頂く事になります。
扱口	資料は、ここに入れて下さい。

作業手順

- 1 脱穀板がしっかり差し込まれているか、確認して下さい。
- 2 メインスイッチをONにし、本機を作動させて下さい。
- 3 番外資料等を用いて、唐箕風力等の各部調節をして下さい。
- 4 坪刈りした資料を1束ずつ扱口に入れて、完全に脱穀されるまで扱いて下さい。
- 5 脱穀内部で藁屑等の共雑物が残留していたら、排塵レバーを引き、外に出して下さい。
- 6 資料の状態によって、各部を調節して下さい。

注意事項

ベルトカバーを外すと、中に唐箕変速プーリー(矢印部分)がありますので、その部分(パネ部分)には週一度の注油をお勧めし：ohya@drive.ocn.jp
唐箕変速装置としての能力は失われますので注意して下さい。



付属品一覧 (OMM/OMMC)



ベルトカバー
作業される時は、確実に取り付けて下さい。



モーターカバー
モーターカバーも同様、確実に取り付けて下さい。



モーターベース
確実に取り付け、ボルト類の閉め忘れのない様にして下さい。



0.4Kwモーター(1台)
プーリー、配線付き



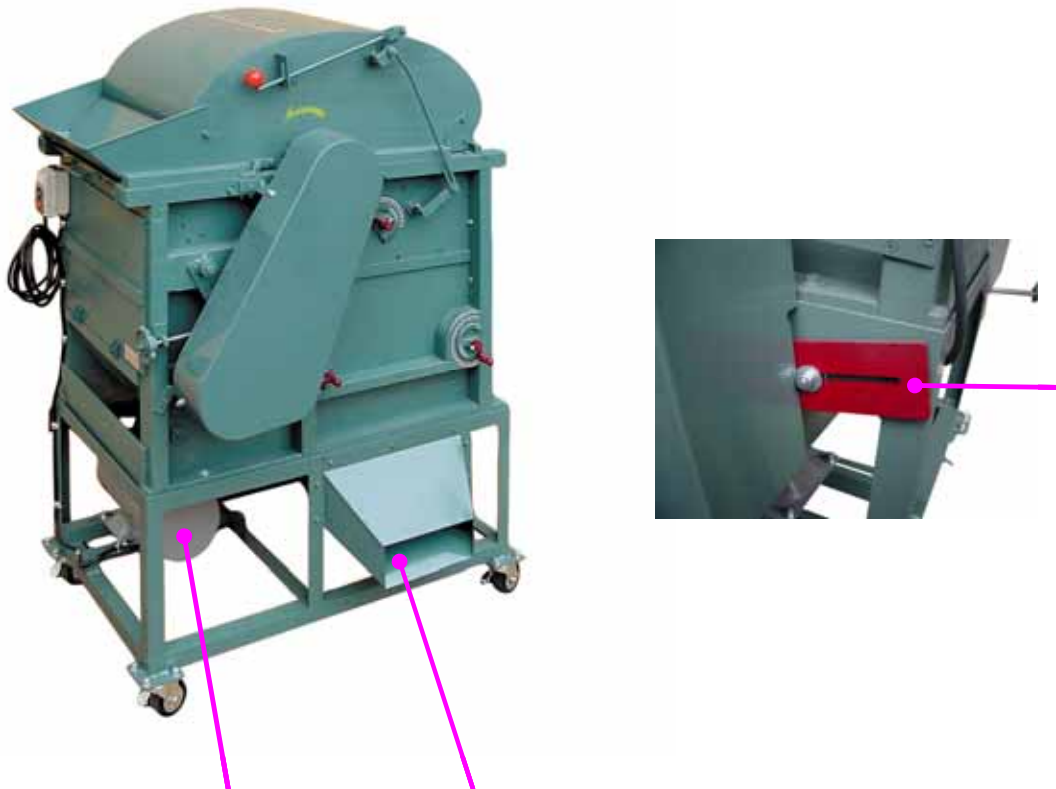
Vベルト(50Hz～A - 75、60Hz～A - 80：各2本)
Vベルトは、切れたり、亀裂が入ったり変色してきたら交換して下さい。



モーターの組み立てについて

モーター、ベルトカバーを取り付ける際には、少々手間が掛かりますが確実に取り付けて下さい。尚、ボルト等の閉め忘れがない様にして下さい。Vベルトは、モーターを引張り、適度に緊張させて下さい。

外受けタイプ(OMMO)各部名称



	名称	説明
	資料出口	資料はここから出てきます。受箱は付属していませんのでお客様の方で用意して下さい。寸法は下から、20cmです。
	モーター	通常タイプと違い、モーターは当社にて取り付けてあります。尚、ベルトカバーやVベルトも取り付けていますので、お客様が組み立てる必要はありません。
	テンションプーリー	Vベルトが緩んできたら、このテンションプーリーを動かして、ベルトを緊張させて下さい。

外受けタイプの特長

通常タイプは引き出し式で、資料の取り出しに若干ではあるが時間ロスがあり、又、資料1点ずつ引き出しを抜き、別の箱に入れ替える作業が更に、時間が掛かる為、通常タイプに、外受け用のキャスター台、資料出口を取り付け、引き出しを無くす事により、時間ロスを解消でき、点数も多くできます。尚、資料受箱は、お客様の都合の良い物を使用して下さい。

キャスターは標準装備で付いていますので、移動に便利です。

テンションプーリーがついており、Vベルトを緊張させる際に、モーターを動かす事無く、ベルトを緊張させる事ができます。

仕様書	
形式	OMMO型
全長×全幅×全高	900×850×1215
重量	90kg
Vベルト	50Hz A-71×2本(モーター) / A-41×1本(唐箕)
	60Hz A-76×2本(モーター) / A-41×1本(唐箕)